

第5回松山市総合計画審議会議事録

日時	令和6年8月21日(水) 10時00分～11時00分
場所	松山市役所別館6階 第3委員会室
出席者	最終ページ参照

1. 開会

2. 議事

(1) パブリックコメントの結果報告

檀会長

- ・ 議事(1)「パブリックコメントの結果報告」についてです。基本構想(素案)について、8月7日までパブリックコメントを実施しておりましたのでその結果を共有いたします。事務局より説明をお願いします。

事務局

(事務局説明)

檀会長

- ・ グローバル化、デジタル化というキーワードについてはこれまでも議論になりましたが、その議論をサポートしていただけるような意見をいただいたと思います。

(2) 基本計画の進捗について

檀会長

- ・ 続いて、議事(2)「基本計画の進捗について」についてです。資料7 第7次松山市総合計画の構成をご覧ください。事務局より説明をお願いします。

事務局

(事務局説明)

檀会長

- ・ この件について、質問やご意見がありましたらお願いします。

一同

(意見なし)

(3) 答申(案)について

檀会長

- ・ それでは続いて、議事(3)「答申(案)について」です。資料8 第7次松山市総合計画総合計画(素案)についての答申(案)をご覧ください。
- ・ この答申案は、前回審議会でお示しました、資料6の意見総括案に対して、委員の皆様

からいただいたご意見を反映しまとめたものです。本日もご審議いただく答申案は、ボリュームがあるため区切って説明し、ご意見をどのように反映したのかも含めて確認しながら、順次ご意見をいただく流れで行いたいと思います。

- ・ まず、資料全体の構成等の説明をしたのち、「はじめに」と「1. 総括的事項」までで区切りたいと思います。それでは、事務局より説明をお願いします。

事務局

(事務局説明)

檀会長

- ・ ここまでについて何かご質問やご意見等がありましたらお願いします。

一同

(意見なし)

檀会長

- ・ それでは次に、「2. まちづくりの理念について」と「3. 将来都市像について」の説明をお願いします。

事務局

(事務局説明)

檀会長

- ・ 将来都市像の「SETOUCHI」の表記について、前回議論が盛り上がった部分ですが、ここまですべてについて何かご質問やご意見等がありましたらお願いします。

一同

(意見なし)

檀会長

- ・ それでは次に、「4. まちづくりの方向性」についてです。まずは、まちづくりの方向性の全体についてと、(1)「人」がつながるについて説明をお願いします。

事務局

(事務局説明)

檀会長

- ・ この項目について何かご意見・ご質問がありましたらお願いします。
- ・ 特になければ(2)「まち」がつながるについて説明をお願いします。

事務局

(事務局説明)

檀会長

- ・ この項目について何かご意見・ご質問がありましたらお願いします。

松村委員

- ・ 「まちがつながる」の114行目、「地域資源が空港から近い」について、JR周辺の開発や私鉄など陸路もあるので「地域資源が空港や駅からも近い」にしてはどうでしょうか。

檀会長

- ・ 空路に限らず鉄道など陸路についても、盛り込める箇所がないかというご意見をいただきました。

倉本委員

- ・ 前回の資料6と今回の答申案を見比べると、具体例が省かれ、圧縮されている印象を受けました。松山の象徴的なものとして「俳句」を挙げていましたが、答申案では具体例が省略されて包含された感じを受けます。俳句に限らず、祭りでは野球拳踊りなど象徴的なものがあるので、どこまで表現するかですが、具体的な名称が入るほうが、インパクトがあると思います。

檀会長

- ・ 俳句を含めた松山の魅力が、答申(案)に落とし込む中で包含されていますが、うまく盛り込める箇所があれば文言を検討します。

高田委員

- ・ 少し戻って、「人がつながる」の92行目に「妊娠出産期から」とありますが、こどもが欲しいと思っている、妊娠の前の段階を考えている若い人について、妊活やフェムテックなど、働き方にも影響することを踏まえると、文言として入れておいた方がよいと思います。

檀会長

- ・ 妊娠よりも前のライフステージを広く含めて、妊娠出産期につなげるという文言調整はできると思います。
- ・ JR、鉄道などの立地や俳句や祭り等の文化、妊娠出産期の表現については最終的な落とし込みを考えたいと思います。
- ・ それでは次に、(3)「仕事」がにつながるについて説明をお願いします。

事務局

(事務局説明)

檀会長

- ・ この項目についてご意見やご質問がありましたらお願いします。
- ・ 特になければ「5. 総合計画の進行管理」について説明をお願いします。

事務局

(事務局説明)

檀会長

- ・ この項目についてご意見やご質問がありましたらお願いします。
- ・ これまで項目毎にご意見をいただきましたが、前に戻っても構いませんので、答申案全体を通して、付け加えたいことやご質問などがありましたら、ご意見をお願いします。

橋本委員

- ・ 「まちづくりの理念」の45行目「コロナ禍を経て、かつての地縁や血縁といったコミュニティの継続が困難」について、コロナ以前から人口減少で担い手不足が生じており、コロナでさらに進んだという現状認識の方が適切ではないでしょうか。
- ・ また、2点目に6ページ目の162行目「各分野にデジタル技術などがしっかり導入され」について、デジタルをあまり良く思っていない人への対応についても記載した方が、安心でインクルーシブな表現になると思います。

檀会長

- ・ 1点目について、コロナ禍だけがコミュニティの存続の原因であると限定的な読み方にならないように、「より一層困難に」など表現を工夫できればと思います。
- ・ 2点目について、デジタル技術のとんがった部分が急に入ってくることに對するハードルがあり、「デジタルデバイド」と呼ばれる情報格差への対応が必要で、技術だけが先行して導入されて、人の幸せが置いていかれることがないようにというご意見かと思います。ここでは、デジタルはもちろんです。「ウェルビーイング」が重要になってくると思います。ウェルビーイングの実現のためにデジタルを活用していくというように、表現に工夫の余地があると思います。
- ・ その他ご意見・ご質問などいかがでしょうか。

高岡委員

- ・ 全体を通して、松山市が向き合うべき課題や方向性が書かれていますが、松山市の特性や状況があった上で示した方が、読み手にとって理解しやすいのではないのでしょうか。松山市の特性として、「人」がつながるでは、他都市より中心部に若者が多い、「まち」がつながるでは、空港や駅から近いという内容が入っていますが、「仕事」がつながるでは、松山の特性が見えづらいと思います。農林水産業に力を入れることはわかりますが、実際は第三次産業が最も盛んであるのが松山の特性で、通勤時間の短いことや就労時間が長くないことなど、全国的に評価されるべき数字が出ているようですので、それを示した上で、こういった方針を示されると良いと思います。

檀会長

- ・ 松山らしさをどう盛り込むかということで、基本構想（素案）には松山らしさについて記載があり、答申にどのように書くかという所だと思いましたが、事務局から説明がありましたらお願いします。

事務局

- ・ 答申（案）は素案としてお示しした内容に対する意見という形でまとめており、素案には約1万人の意見をふまえた、松山らしさや未来のあるべき姿を描いているつもりです。今後いただいた意見を踏まえて、より松山らしい表現は検討できると思います。

檀会長

- ・ 確かに、松山らしさをどう出すかは大事な点だと思います。この場でも松山らしさをどう盛り込んでいくかは議論しましたので、うまく答申に盛り込んでいきたいと思います。

岩田委員

- ・ 5ページの128行目「外貨を稼ぎ」について、現在は円安ですが、円高になると国内にものを売る方が儲かります。必ずしも外貨を稼ぐことが地域活性化につながるとは限らず、削除した方がよいと思います。

事務局

- ・ 「外貨」は、国内も含めた域外からのお金という意味合いで記載させていただきました。域内でのお金の循環だけでなく、域外からのお金の流入も増やすという意味合いですが、わかりにくい場合は補足説明を追加します。

檀会長

- ・ 外貨というと外国通貨と取られる可能性がありますので、誤解がないよう、表現を工夫していただきたいと思います。

本田委員

- ・ 海運業は円安で利益があがっており、特に三津浜地区は海運業で成り立っていますので、できれば海運業についても記載していただければ、「外貨」という表現がいきてくると思います。

檀会長

- ・ 海運業も念頭に置きながら、表現を工夫します。

村岡委員

- ・ 3ページの74行目に「環境教育」とありますが、具体的には何を指すのでしょうか。南海トラフ地震の発生も予想される中で、防災教育や福祉教育、地域づくりなども含めた内

容が必要ではないでしょうか。それを置いて、環境教育を特別に打ち出す必要性をお聞きしたいと思います。

檀会長

- ・ ここは、E S Dとして、なるべく意味を広くとらえようというご意見があったと思いますが、事務局から補足いただけますでしょうか。

事務局

- ・ 素案には、キャリア教育やI C T教育も含めた記載があり、答申（案）ではE S Dに関するご意見を反映しています。答申（案）には入っていませんが、追加を検討することはできると思います。

檀会長

- ・ 地域づくりや福祉と絡めた文言を検討できればと思います。

橋本委員

- ・ 2ページの53～54行目にあるアルファベットの「S E T O U C H I」についての説明は、この1文だけでは初めて読んだ人にはきちんと伝わらない可能性があるため、追加説明が必要だと思います。アルファベットだと、欧米から見た瀬戸内という一地域を表しているように見えます。
- ・ また、「仕事がつながる」には、瀬戸内のことが全く出てこないのも、まちづくりの方向性全体をS E T O U C H Iが包含しているとは認識しづらいと思います。

檀会長

- ・ 確かに初見では意味しているところがわからないところがあったかと思いますが、どこまでを答申で記載するかという点もポイントになると思います
- ・ 交流拠点となること、瀬戸内をイメージさせる松山市、世界とつながる、新しいことに挑戦するということを答申の中でどこまで説明するかということと、「S E T O U C H I」がまちづくりの方向性全体に関わるのであれば、「仕事がつながる」にも盛り込むべきというご意見をいただきました。事務局から補足があればお願いします。

事務局

- ・ 「S E T O U C H I」について、分かりにくいという点については、会長と相談させていただきながら、表現を検討させていただきます。
- ・ 「仕事」がつながるについて、基本構想（素案）では瀬戸内の魅力を生かしたインバウンドの獲得など、外とのつながりについて触れている中で、足りない部分について今回答申でご意見をいただいたということになりますが、おっしゃられたように「まちづくりの方向性」全体で瀬戸内を意識できる方がよいかと思いますので、このあたりの表現も会長・副会長と相談させていただきたいと思います。

影浦委員

- ・ 2ページの55行目に「松山市の独自性をしっかりと発揮」と、6ページ162行目に「各分野にデジタル技術などがしっかりと導入され」の2か所に「しっかりと」と記載があります。この表現をもう少し明確に、あるかないかはっきり表現した方がよいと思います。特に162行目については他の委員の意見もお伺いして、「しっかりと」という表現があるから、デジタルが苦手な人にとって少し怖いと感じるのではないかと思いました。会長の言われたように、ウェルビーイングの実現に向けた表現になれば良いと思います。2ページ目の「しっかりと」も、瀬戸内の中での交流拠点としての独自性を発揮すると説明できれば、「しっかりと」という言葉を使わずに、「SETOUCHI」を説明することができると思います。

檀会長

- ・ 「しっかりと」という副詞には、表現として幅があり、解釈により、伝わり方が異なると思いますので、なるべく「しっかりと」という表現ではなく、具体的なことを書きこんだほうがわかりやすくなるというご意見をいただきました。具体的に想起される内容が見えると良いのではないかと思います。
- ・ ほかにご意見がなければ、ここまでにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

一同

(意見なし)

檀会長

- ・ 追加の議論のご要望はございませんでしたので、会議も追加開催はせず、本日を最後としたいと思います。
- ・ なお、本日までの議論を踏まえて、市長に答申するための答申(案)を整えますが、最終案は会長に一任していただけますでしょうか。

一同

(異議なし)

檀会長

- ・ ありがとうございます。それでは、本日のご意見も踏まえて、文章を最終調整します。答申書の写しについては、後日事務局から各委員にお送りします。
- ・ 一言ご挨拶をさせていただきます。様々なバックグラウンドをお持ちの専門家の知見や、公募委員からも幅広いご意見をいただきました。この場で議論が盛り上がったことは非常にありがたく、他の委員のご意見に誘発されて次々ご意見が出る、実りのある審議会であったと思います。初回はリモートでの参加もありましたが、デジタル技術の活用で時間と空間を共有し、議論の活性化にも寄与したと思います。良い答申ができ、皆様のご貢献に御礼を申し上げます。

3. 連絡事項

事務局

(事務局説明)

4. 総合政策部長あいさつ

宇野総合政策部長

- 委員の皆様方には、4月に委員として委嘱させていただいてから、本日まで5回に渡り、ご審議をいただきました。この間、檀会長をはじめ、委員の皆様方には、大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。また、檀会長が発言しやすい雰囲気づくりに努めていただいたこともあり、委員の皆さまが専門的な知見や、ご経験に基づき、様々な観点から活発に意見を出していただきました。その結果として、我々も多くの気づきを頂戴できました。重ねて、厚くお礼を申し上げます。今回の答申については、市長へご提出いただくこととなりますが、市としましても、答申の内容をしっかりと受け止め、計画に反映したいと考えています。新しい総合計画は、未来の松山を市民の皆さんと一緒に推進できる計画をコンセプトに、「つながる」をキーワードに交流や連携をしながら、松山の将来都市像の実現に向け、取組を進めていきたいと考えています。当審議会は、この答申をもって解散となりますが、委員の皆様方には、それぞれの立場から、今後とも本市の市政運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、委員の皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

5. 閉会

以 上

第5回松山市総合計画審議会委員 出席者名簿

役職	氏名	所属等
会長	檀 裕也	松山大学 副学長
委員	岩田 和之	松山大学 経済学部 経済学科 教授
委員	大石 紗己	独立行政法人 国際協力機構 愛媛デスク 国際協力推進員
委員	影浦 紀子	松山東雲女子大学 人文科学部 心理子ども学科 准教授
委員	倉本 逸男	公募
委員	坂谷 安遥	公募
委員	高岡 奈々葉	公募
委員	高田 名奈	株式会社日本政策投資銀行 松山事務所 副調査役
委員	竹下 浩子	愛媛大学 教育学部 准教授
委員	武田 孝二	全国農業協同組合連合会 愛媛県本部 副本部長
委員	橋本 俊晴	公募
委員	本田 元広	公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団 理事長
委員	松村 暢彦	愛媛大学 社会共創学部 環境デザイン学科 教授
委員	村岡 則子	聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 社会福祉学科 教授

(敬称略・五十音順)